

行政評価シート（事務事業評価）			評価年度	4年度
事業名	生涯学習フェスタ事業	担当課	教育課	
事業内容(簡潔に)	葦崎市生涯学習フェスタ実行委員会へ業務委託			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり
	政策	誰もが「生きる」喜びを感じるまちづくり
	施策	生涯学習の推進
関連する個別計画等		根拠条例等

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促す。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> 毎年11月の土・日曜日の2日間をかけ、東京エレクトロン葦崎文化ホールにて開催。1日目は文化協会及び学校関係（中高吹奏楽部等）の発表。2日目は公民館関係の発表と記念公演のほかに、「葦崎市立図書館を使った調べる学習コンクールの発表」を行う。なお、書道や絵画作品などの展示は両日を通して実施。 地区公民館には「生涯学習推進の集い」の事業に、地区分館には「生涯学習まちづくり学習会」の事業に補助を行う。
事業の対象	市民全般及び地区公民館・地区分館

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	4,076	1,880	1,984
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	4,076	1,880	1,984
B	担当職員数(職員E) (人)	0.43	0.43	0.43
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	2,888	2,828	2,831
D	総事業費(A+C) (千円)	6,964	4,708	4,815
主な事業費用の説明	実行委員会への事業委託料、地区公民館などへの補助金			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円),2年度(6,575千円),3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			元年度	2年度	3年度	
活動指標	1	フェスタ発表件数	発表団体数	44	0	0
	2	地区公民館・分館への補助件数		102	49	45
	3					
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	市文化協会及び公民館活動の貴重な発表の場となっている。R2、3は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から発表部門は中止した。				
	2	事業に補助することにより、各公民館において自主的な活動が展開されているので妥当である。R2、3は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、多くの各地区公民館、分館において活動中止を余儀なくされた。				
	3					

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	生涯学習フェスタ アンケート満足度 (上:発表部門、下:展示 部門)	77.5 83.6 0人/0人 0人/0人	0 0 ※コロナにより 実施なし	0 0 ※コロナにより 実施なし
	2	生涯学習フェスタ参加者 数 () 内は、入場者含む。	1,502 (3,300)	1,185 (1,943)	1,239 (1,910)
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	アンケートでは「地域に密着した発表が多く素晴らしい」や「記念公演が面白くてよかった」などの声があった。			
	2	R1までは、平均して参加者は1,500人以上、入場者を含むと3,000人以上を維持することができた。 R2以降、発表部門は中止したが、展示部門については、感染対策を行いながら実施することができ、参加者の確保ができた。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)			
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)			
	令和4年度の改善計画 (今後の事業展開説明) <ul style="list-style-type: none"> ウィズコロナにおけるオンライン配信を含めた新たな開催方法について、少しでもできるものから取り組んでいくとともに、引き続き、模索、検討していく。(事前撮影を行い、展示会場内で上映等を実施予定) 			
改善の経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度から文化協会の「葦崎市文化祭」と公民館の「生涯学習推進の集い」を「生涯学習フェスタ」として同時開催。 平成27年度に「葦崎市生涯学習振興費補助金交付要綱」を策定。地区公民館運営費補助金と生涯学習推進事業費補助金を一本化。 平成30年度から「みんなで創るにらさきの文化プロジェクト」と称し、芸術鑑賞部門として大型紙芝居劇や創作歴史劇の発表を行っている。令和元年度は、創作歴史劇「王仁塚物語」を開催。 令和2年度から会場を二コリ地下とし、展示部門を実施、期間を従来の2日間から5日間に延長した。 令和3年度はオンラインによる、葦崎市立図書館を使った調べる学習コンクールの発表と絵画・習字の入賞作品発表会を実施。 			
直近の評価結果	内部評価	令和2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	
	評価時の改善案	平成30年度より「みんなで創るにらさきの文化プロジェクト」と称し、芸術鑑賞部門として大型紙芝居劇や創作歴史劇の発表を行っている。元年度は創作歴史劇「王仁塚物語」を開催。好評だが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度は規模を縮小しフェスタを開催していく。		
	外部評価	令和2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	
	評価時の対応	令和2年度はコロナ禍ということもあり発表部門を中止し展示部門のみ縮小し開催を行った。 今後もコロナ禍での開催を念頭に置きオンライン開催を含め発表部門、展示部門の両方が出来る限り多くの市民の参加ができるよう取り組んでいく。		
課長所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、生涯学習フェスタにおける発表部門の開催は困難であるが、展示会場内での映像上映による各地区公民館や文化協会の各部での日頃の活動の成果の発表の場の機会の創出を行い、地域での継続した文化芸術活動を支援していく。			